

【保土ヶ谷区会場（令和元年6月25日（火））】
I R（統合型リゾート）等新たな戦略的都市づくり検討調査市民説明会
質疑要旨

※質問者に名前とどこの区から来られたか答えていただいておりますが、個人情報保護の観点から名前は記載せず、区のみ記載しています。

（質問者：保土ヶ谷区）

- I Rを推進する立場で話がされ、最後のまとめでも市民の声を聴いて決めるというのではなくて日本型のI Rを説明するという前提で話をするのはおかしい。
- 短時間で市民の声が聴けたと既成事実化するのではなく、最終的には市民の投票が必要。

（質問者：瀬谷区）

- アライバづくりと呼ばれて、説明したと言っているようにしか聞こえない。
- 財政への貢献というが、財政からどれくらいものを出すつもりでいるのか。
- 山下ふ頭が候補地になっていだが、山下ふ頭はどういう権利関係になっているのか。

（質問者：保土ヶ谷区）

- 報告書は現政権的で都合のいい数字だけ書かれており、市民の声のアンケートで圧倒的に反対の声が多いのに賛成と反対が拮抗しているというイメージを作ろうとしている。
- 横浜港運協会会長が横浜港ハーバーリゾート協会をつくった時のインタビュー記事で、I Rというのは明らかに現政権や官房長官に言われ市長はそれを進めていると言及し、ギャンブル依存症はなかなか治るものではないと言っているが、どう思うか。
- 政策局はただ自民党横浜市議団の言うことに逆らえないだけなのではないか。

（回答者）

- 推進ありきというご感想を持たれたということだがそういうつもりではなく、まだ導入するしないは、決めていない状況で、I Rが一体どういうものかをしっかりと把握したうえで市民の皆様にご報告しながら、導入するしないを決めていく必要がある。このため、調査を30年度に行い結果をお伝えする機会を設定させていただいたので、ご理解いただきたい。
- 今回の説明会だけで終わらせるつもりはなく、導入するしないをまだ決定していない中で今回は調査の報告をさせていただくというスタンスで説明。もし説明会のご要望があれば、また時間を取らせていただきたい。
- カジノに対して依存症や治安悪化などの懸念要素があって皆さんが心配されていることは承知している。しかし、国から示されている日本型I Rでは一定の規制をした中で

様々な懸念事項への対策も行われるのでご理解いただきたい。

- どのくらい I R に費用がかかるのかだが、まだ I R の国の政省令が全て出ていない状況で、I R の枠組、事業者と自治体の方でどういう役割を担っていくのかまだはっきりしておらず確認をしていく必要がある。
- 山下ふ頭の多くは横浜市の敷地。もともと港湾施設でふ頭として横浜市が管理している。国の土地や民間の土地も一部あるが、多くは横浜市が土地を持っている状況。
- 今回は、市のほうから山下ふ頭を立地場所として指定したのではなく、横浜市でもし I R をやっていくとすればということが考えられるかという情報提供を事業者の方が提出いただいたもの。ハーバーリゾート構想がある一方、I R の事業者が山下ふ頭は適地であり I R の立地場所として利便性や色々な要素が高いと判断している。
- 国が法律をつくって観光都市をつくる一つのメニューがある中で選択肢の一つであることは確か。本当に横浜にとって活用すべきものなのかをしっかりと調査していくのが政策局のスタンス。その中で今回調査し皆様への報告をしている。

(質問者：西区)

- 12 事業者からの情報提供を一つの判断材料にしているが、一番の判断材料は市議会の意見、見解、有識者のコメント、意見ではない。市民の意見だ。
- 全 18 区で 2 時間から 3 時間かけて市民と対話して市民の真摯な意見を聴くべき。今日の最後までにぜひ確約してほしい。

(質問者：南区)

- 横浜市が超高齢化、少子化で大変なることを強調して進めていくと捉えられるような説明。毎年毎年調査のために大事な税金 1,000 万円ずつ使っているがもっと違うことに使ってほしい。
- 今日、来られない人がすごくいたはず。市民に始めから懸念のある依存症は大変な問題。社会的損失になるわけで市民にきちんと説明し討論できる場をもっと持ってほしい。

(質問者：中区)

- 3 者の事業者は名称の公表を希望しなかったとあるが、後ろめたい事があるからと考える。公表すべき。公表しないのであれば、初めから公募に提案すべきでない。
- 観光客がいかにも伸びると資料にあるが、実際に日本の観光客は 3 年前と比べて 4 倍になっている。カジノをやらなくても日本の観光客は増える。そういう数字と比べないのか。
- 横浜市の役割は何か。12 事業者に提案させて肩代わりして発表しているだけか。市税と貢献する数字が載っているが、これを比べていいものか。I R 12 者の計算を鵜呑みにしチェックしないで数字を出すのは、誰が責任をとるのか。これは大きな詐欺と指摘させていただく。横浜市の課題への対策については事業者による、やるやる詐欺。

(回答者)

- 今回、5月に昨年度の調査を発表し調査報告をすべきとご要望があり、まずは4か所で説明会を開催したが、ご要請があれば説明会を検討し説明会も随時開かせていただきたいと思う。
- 日本型 I R がどういうものか、I R の海外事例はどういうものなのか、しっかり調査をしたうえで導入するしないを判断していかなければならない。事業者によって色々な数値に幅が大きくある。その理由は、市がするしないを決めていないため、I R の立地場所や条件を提示していない中で事業者側が横浜でやるとしたらと情報をいただいたのでかなり幅がある。そこも精査していかないと横浜にとって I R という事業がふさわしいのか判断できないため、今年度も事業者からの情報を精査していくための予算をつけている。こちらも適宜、皆様にご報告させていただきたいと思う。
- 今回の説明会の応募状況だが、今日同時開催の中区が定員 100 名に対して 185 名の応募で抽選になった。保土ヶ谷区は 80 名の定員に対し当初 60 名の応募で全員来ていただき、中区で抽選に外れた方を再抽選し 20 名参加いただいている。明日の都筑区は 100 名定員で 100 名の応募により抽選はなく全員、戸塚区は定員 100 名に対して 108 名の応募で会場を都合し 108 名全員にご参加いただき、合計では 380 名の定員、453 名のご応募、396 名の方にご参加いただいている。
- 事業者が非公表になっている理由は今回 I R の事業の公募ではなく I R の事業者の方に横浜市から協力を要請して情報を提供してもらいたいという位置づけで実施したため。名前を出さないことを条件に情報を提供するという会社等が 3 事業者あり非公表とした。
- 日本の観光に関してのご指摘で、シンガポールの例と日本のインバウンドの需要だが、先ほど日本全体で 2.4 倍に外国人観光客が伸びている中、一番我々が危惧しているのが実は東京、大阪、神奈川県に比べて横浜は外国人宿泊客が伸びていないことで、いわゆるゴールデンルート、東京、大阪などの外国人観光客が行くルートを横浜は取り込めていない状況。あくまで数値をご報告している。
- 事業者からのデータについては市から条件を出していない中で数値を出している。ご指摘いただいた数値も幅があると認識。今後増収効果に限らず雇用者数とか経済波及効果など、しっかりと見極めていかないと横浜にとって I R がどういう位置づけにあるのかなど明確に調査が進まないなので今年度はその精査も進めていきたい。

(質問者：港北区)

- 肝心のカジノがブラックボックス。カジノの中身はどのように理解していけばいいのか。天文学的数字が動くレベルから、パチンコ、スロットマシンのような娯楽的なものまでである中、どのようなカジノを想定しているのか。
- 今日の報告では横浜市をシンガポールやマカオ、ラスベガスのような街にし、税収の増加を図るといった絵に描いた餅のような感じ。カジノを本当に考えるなら中身をしっかり調

べるべきだし周辺のマイナス面や単に依存症だけでなく総括的に検討したうえで考えるべき問題。

(質問者：保土ヶ谷区)

- 海外事例ではこれらの施設が全く反社会勢力の介入やマネーロンダリングがないという事が調査結果なのか。韓国カンウオンランドはその周辺の調査が実施されているか。山下ふ頭に I R ができた時にその周辺がどうなっていくかの調査が大事なのではないか。
- 「カジノと I R が混同されていることが多い。」とあるが、カジノのない I R という想定はおかしいのではと思う。
- カジノ収益が多く言及されているが、賭博で巻き上げたお金で税収を増やしても非常に不健全な形で横浜市が税収を回っていくのは横浜市民として納得がいかない。

(質問者：区言及なし)

- 18 区で納得いくまできちんと説明ができるように。私は不信の塊を感じている。前市長の時に横浜開港記念イベントでものすごい赤字を出したが、今度は I R。とんでもない。
- 韓国カンウオンランドなど進めた都市で観光の名所だった所が崩れていっている。横浜は絶対そうあってほしくない。
- 現市長も前市長も選挙の時と変わってしまう、そんなことは絶対あってはならない。前市長は退職金を返すべきだし責任は取るべきだと言いつけたい。これをハッキリさせるのが横浜の職員としての役目ではないのか。

(質問者：磯子区)

- ギャンブルは人の不幸を儲けにしギャンブル依存症や治安の問題というマイナスの効果が考えられる I R という地域活性化策などあってはならないと思うが、どう考えるか。
- 横浜という都市の品格を考えてそれが下がると思うがどう考えるのか。

(質問者：金沢区)

- 12 事業者の説明を受けにきたような感じを受けたが、多くの反対者のご意見や思いというものはどういうものであったのかについては、もう一度説明いただきたい。
- 経済効果はあるだろうが、市税が I R で支えてられていく。今回カジノは日本全国で 3 自治体だけ。I R で大儲けして、後は少子化でどんどん下がっていく自治体格差をどうするのか。横浜市だけどんどん儲けていくという方向で良いのだろうか。
- 横浜に富裕層が沢山遊びにくるかもしれないが、横浜は子どもの貧困率など格差が広がっている中で経済効果があれば良いという議論は非常に将来を考えた場合にナンセンスだと思う。
- 依存症対策で先ほど 3 つ病院を紹介したが、実際に病院には行っていないはず。依存症の

人たちがどういう取組をしているか、ミーティングの現場、調査をしているのか。

- 日本はギャンブル依存症が多いのか少ないのか。日本のギャンブル依存症実態は一体どうなっているのか、ようやく疾患として認められたが。ギャンブル依存症は副次的な問題だとは思っているがあまりにもギャンブル依存症を甘くなめていないかと思う。

(質問者：保土ヶ谷区)

- 資料のつくり方として横浜市を取り巻く状況と課題のところに、外国人宿泊者数の伸び率があるが一緒に宿泊施設数のデータも載せるべき。泊まる所がないのに泊まってくれというわけにもいかない。
- 横浜市の経済状況、横浜と東京などの上場企業数と法人市民税では、事業者数がこんなに違うのだから当たり前だと思う。
- 横浜市の事業ではどうなのか。I Rを抜きにしてどうなのか。せめて説明会の時に惑わされない的確な数字を出すように要望する。カジノ反対。

(質問者：旭区)

- 今日の報告内容がほとんどカジノありきで言われているのではないかと思う。例えば、大阪に比べて観光客数が非常に少ないと言うが、それはカジノ I Rを入れなきゃダメなのか、何故そういう根拠になるのかが分からない。他に少ない理由があるのでは。
- まるで I R 入れると横浜の色々な問題がさも解決するかのようになっていると思う。そういう点で I R ありきカジノありきという報告は考えてもらいたいし、報告・質問時間をもっとちゃんと取ってほしいという意見。

(質問者：区言及なし)

- I R は横浜の将来のイメージを大きく変えるものであり期待してやるのだと思うが、市民の多くが反対した場合に、パーセンテージとかでハッキリ多くの割合の反対があった場合に市としてはやらないという事を言ってもらえるか。

(回答者)

- 日本型 I R の中でカジノについては、シンガポールは今一番規制が厳しいと言われ、それに準じて制度設計をした入場料 6,000 円の支払必要があり機会制限も設けられ回数制限があるなど、I R 整備法で決められている制度の中でのカジノを想定している。世界の I R の事例でお示ししたものはかなり豪華なカジノが想定されていて一般のギャンブルとは違うものを想定して情報提供をいただいている。
- 市の中期 4 年計画の中ではパブリックコメントで反対の声が多かったことは示させていただいており、一方で経済的なメリットで賛成されている方の意見もある。施策に限って聞いている意見になっているので、今、実際、市民の皆様の意見や声がどういう状況な

のかというのは把握できていない。ただカジノに関しての懸念の声や心配の声というのは今日も皆さん持たれていると事は十分認識している。

- 横浜は何とか今の税収の中で市政運営ができてきている状況だが、将来を考えた時に日本最大の人口の都市であると同時に、人口減少社会の時に横浜は大きく人口減少していく。将来の中でなかなか今の市税収入を維持するのが難しいと認識している。個人市民税の割合が4割というのが横浜の特徴。企業からの市民税収が少なく市民の皆さんの個人市民税と固定資産税で市税の構成が成り立っている中で10年、20年、30年先を考えると今の市税の収入を維持することは難しいと考えている。導入する、しないを決めていない中でIRは選択肢の一つではあるのでしっかりと調査をしていきたいというスタンスで報告をさせていただいている。
- 依存症の実態についてはまだ踏み込んだ調査までできていないという状況で、今回のヒアリングの中で国立久里浜医療センター院長や有識者の中の依存症対策の方には聞かせていただいた。実際に現場を見ているのか各外国のIRの実績をちゃんと確かめているのかと言われるとこれから確認していかなければならないことが多くあると思う。
- 反対の市民の声が多い場合にどうしていくのかは、今回の説明会で皆さんからご意見をいただいているものはしっかりと受け止めているが、市民の方のご意向を聴いていく機会というのは先にどういう方法があるのかも含めて今後検討させていただきたいと思う。

(参加者)

- 最後に今日の意見がどのように反映されるのか。議会や市長に報告されるのか。

(回答者)

- 今日の説明会の内容とご意見は記録に残させていただきたいと思う。今導入する・しないを判断する状況ではなく今回はあくまでも昨年度の調査の報告をさせていただくという視点でこの説明会を開催させていただいた。今年度の調査でも事業者のデータに幅がある、依存症の対策をしっかりどこまでできるのか検証確認していくことも求められおり精査していく調査を引き続き継続したいと思う。

(参加者)

- 記録じゃない。どこに反映されるのか。市長にちゃんと伝わるのか。

(回答者)

- 行政として業務で説明会をやっており議事録も意見がこういうものがあったという事はしっかりと記録に残して今後も調査や検討で反映させていただく。